

# タクシー相乗りマッチングアプリ 実証実験結果報告書

令和2年2月

株式会社NearMe  
長岡市ハイヤー協会  
長岡市

# サマリー

## □ 利用実績・利用状況

- ユーザー数と近似である「ダウンロード数」が338人、タクシー相乗りを試みた延べ数である「リクエスト数」が延519人と、相乗りについて一定程度の関心・ニーズがあることがうかがえる。
- 実際の乗車に至ったのは延108人であり、リクエストに対する割合は約20%となった。

実際の乗車に至らなかった要因に、相乗り相手への不安や拒否反応はほとんど見られず、主に相手が見つからなかったことを挙げていることから、今後は利用者の増加だけでなく、マッチング機会（乗・降車の場所や時刻）の設定により相乗りの見通しが立てば、マッチングにつながるのではないかと考えられる。

## □ 周知活動

- 本実証実験を配布物やニュースで知ったケースが多かったことから、市やタクシー会社が協力することで効果的に周知できたのではないかと考えられる。

## □ 大学生の利用意向

- 大学生は公共交通機関を利用する機会が多い反面、クレジットカードの所有が進んでいないことから、今後、キャッシュレス決済の普及に伴いクレジットカード所有が増えれば、料金負担が軽いタクシー相乗りが進むのではないかと考えられる。

# サマリー

## □ タクシー業界の反応

- 普段からタクシー利用者と接している運転手の約半数が、本サービスがタクシー利用者の利便性向上に寄与すると考えていることから、利用者のサービスへの周知が進めば、定着が期待できるのではないかと。
- 反面、タクシー営業において本サービスを不安に思うタクシー運転手が一定割合あることがわかった。  
不安の内容が、相乗り自体に対する点やスマートフォンアプリを活用する点など、今後の規制緩和やMaaSの進展における全体的な課題が多く、社会全体で環境づくりをしていく必要があるのではないかと。

## □ 今後の展開に関して

- NearMe社が現在首都圏で展開している空港へのジャンボタクシー相乗りについて、長岡市内や新潟空港への交通手段としてのニーズも見受けられる。

\* MaaS(Mobility as a Service) : ICT を活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念。  
(発達中の新しいサービスであることから、先行している海外においても定まった定義がないのが現状)

# 実証実験の概要

## • 実験の目的

アプリによるタクシー相乗りの推進が、長岡市の地域交通の利便性向上に寄与する可能性について実証研究する。

## • 実施期間

- 第1クール 7月1日 ～ 8月31日
- 第2クール 10月1日 ～ 11月30日

## • 実証実験の内容・三者の役割分担

【株式会社NearMe】長岡市内に設定した区域において「nearMe.」を運営し、利用状況やアンケートにより効果を測定する。

【長岡市ハイヤー協会】通常のタクシー営業を行い、運転手が感じたサービスの効果や影響等を収集する。

【長岡市】関係機関との調整や、各種周知手段を活用した市民等への実証実験の周知を行う。

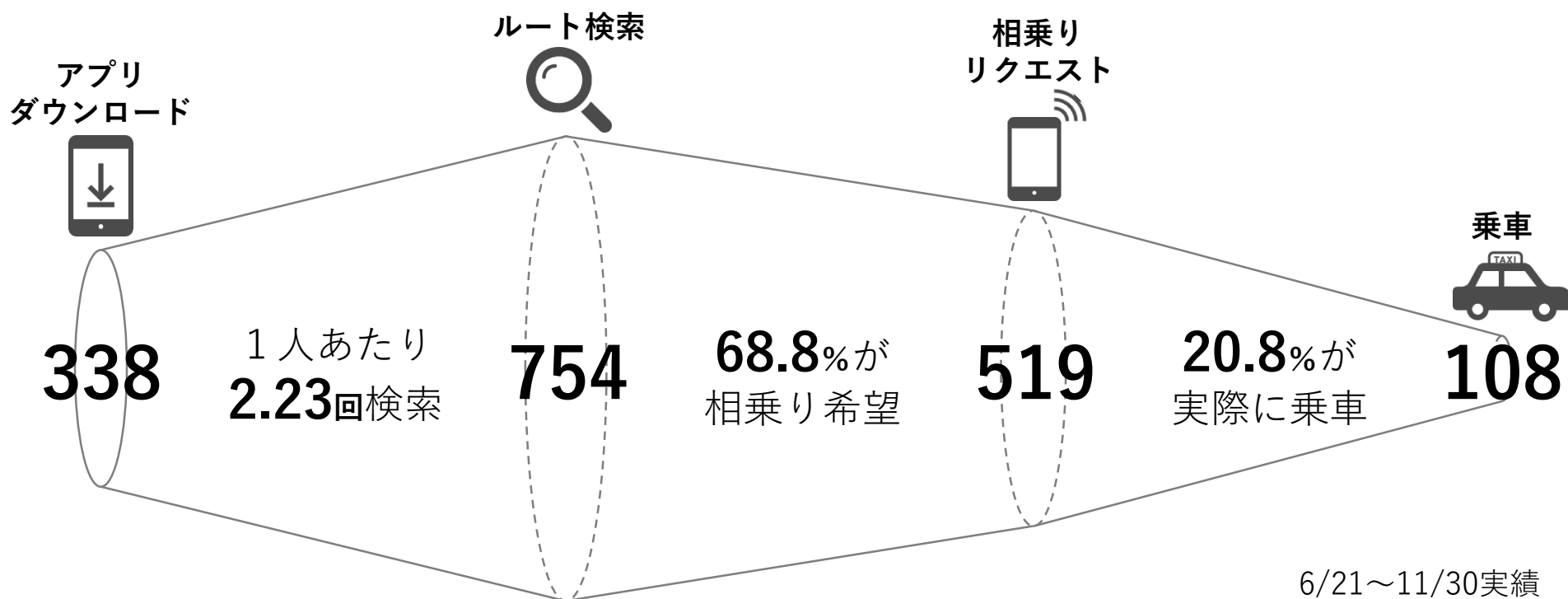
# 主な取組一覧

市内全世帯に加え、3,500社、約45,000人（延べ）にアプローチ

- 記者発表  
（メディア展開） 6月21日（金）  
新聞：8回掲載、ネットニュース：11回掲載  
テレビ：3回放映
- 市政だより掲載 7月号及び10月号 各108,000世帯
- カード広告配付 長岡市商店街連合会25店舗（計400枚）  
社交飲食業組合240店舗（計4,800枚）  
飲食店組合130店舗（2,600枚）
- ティッシュ配布 街頭（アオーレ、長岡駅前）にて1,500個（7/6）  
タクシー車内にて35,000個（随時）  
NCTリバーサイド千秋店にて700個（随時）
- チラシ配付 ながおか情報便7月号（商工会議所会報）3,500部
- タクシー乗り場  
ラッピング 長岡駅及び大手通のタクシー乗り場8か所
- 学生アンケート（市） 長岡造形大(10/31)、長岡技科大(11/7)にて1回ずつ実施
- ドライバーアンケート（ハイヤ協会） 5回実施(7月末、8月中旬、8月末、11月初旬、11月末)
- ユーザーアンケート(NearMe) 1回実施(1/14-17)

# 利用実績・利用状況について

- ・ダウンロードが338人、タクシー相乗りを試みたリクエスト数が延519人と、相乗りについて一定程度の関心・ニーズがあることがうかがえる。
- ・実際の乗車に至ったのは延108人であり、リクエストに対して約20%となった。



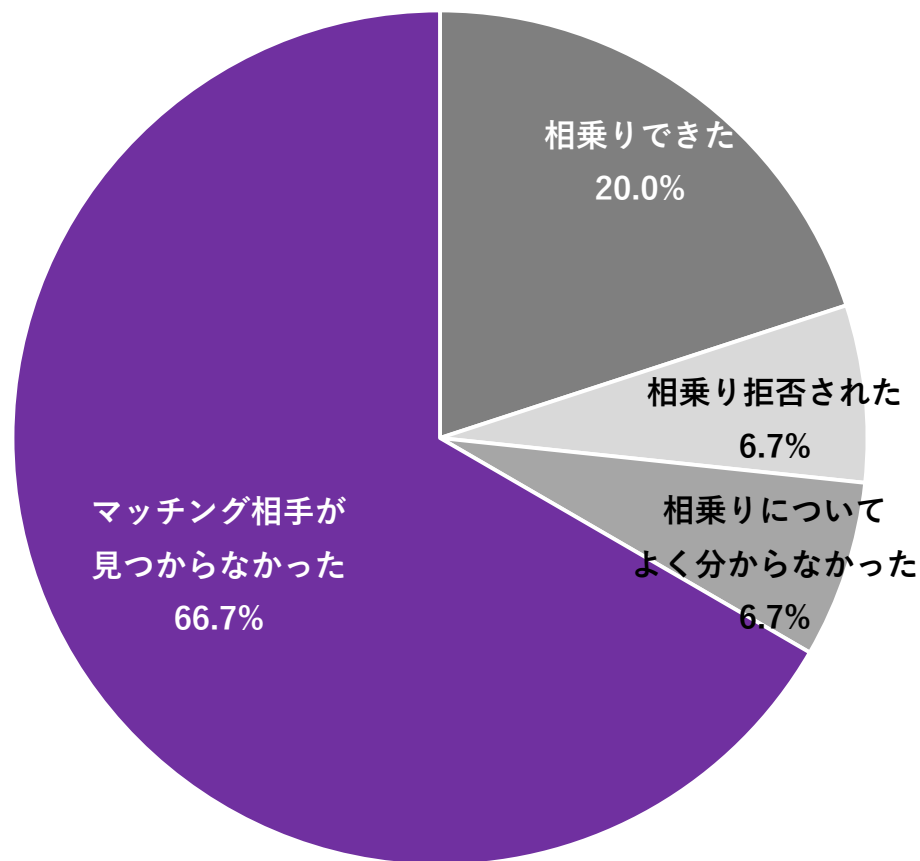
※長岡まつり期間中は、マッチングできてもタクシーが確保できない恐れがあったため、アプリ上で注意喚起を行うとともに、積極的な利用PRは控えた。

※日時・出発地・目的地の一部を固定することでマッチング率が高まるかを米百俵フェスにて実験する予定であったが、イベントが中止となり検証できなかった。

# 利用実績・利用状況について (ユーザーアンケートから)

- ・ マッチングに至らない理由として、相乗り相手への不安はあまり見受けられず、「マッチング相手が見つからなかった」ことが多くを占めている。

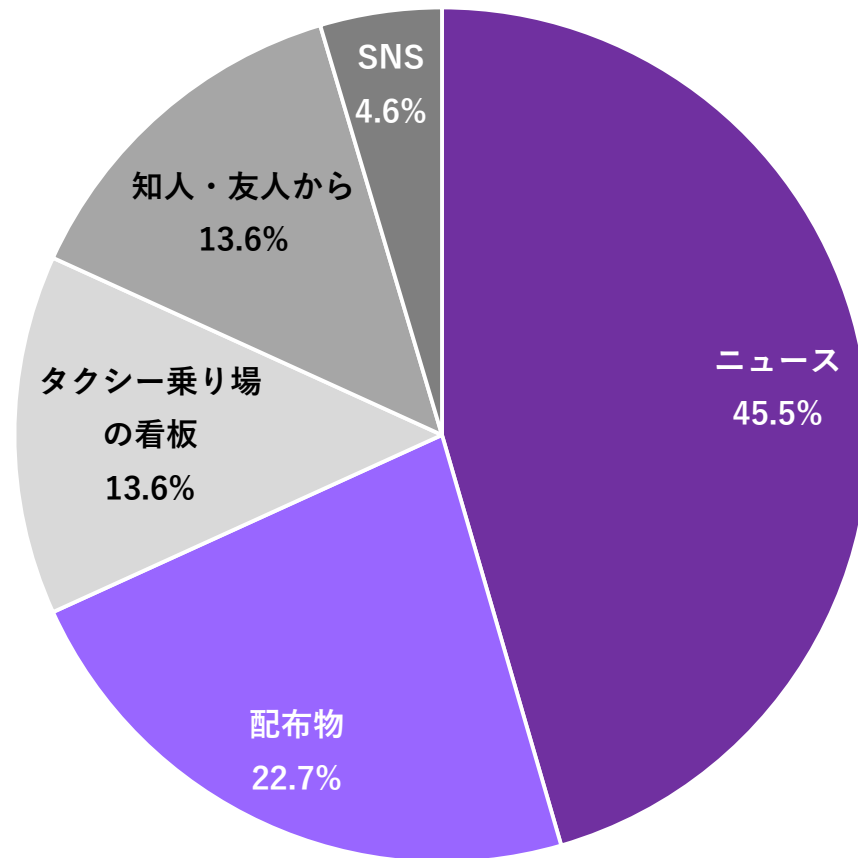
Q. 次のステップ※に進まなかった理由は何ですか。 ※検索⇒リクエスト⇒マッチング⇒乗車



# 周知活動について (ユーザーアンケートから)

- ・ 本実証実験を配布物やニュースで知ったケースが多かった。

Q. nearMe.タクシー相乗りアプリを何で知りましたか。

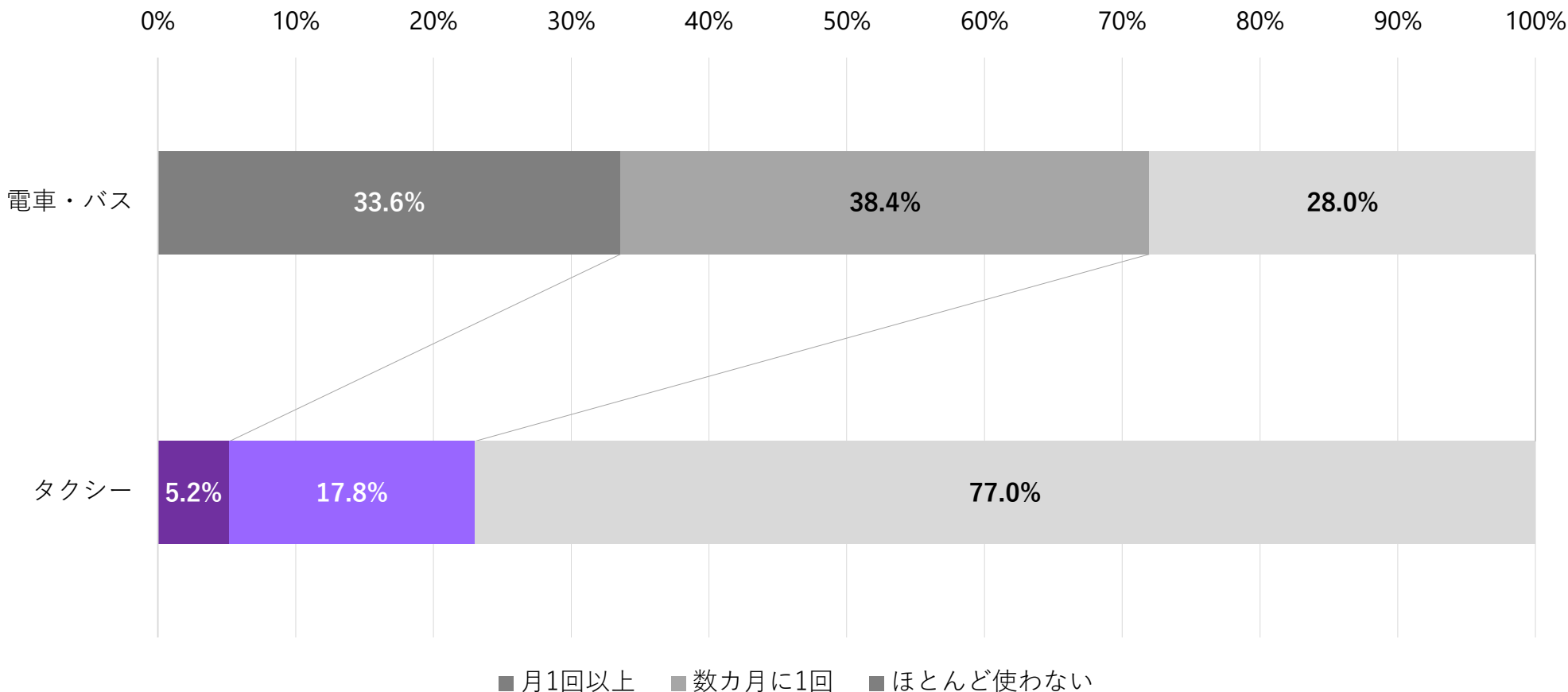




# 大学生の利用意向について (大学生アンケートから)

- ・ 7割以上の大学生が電車・バスを利用する一方、タクシーを利用するのは2割程度と少ない。

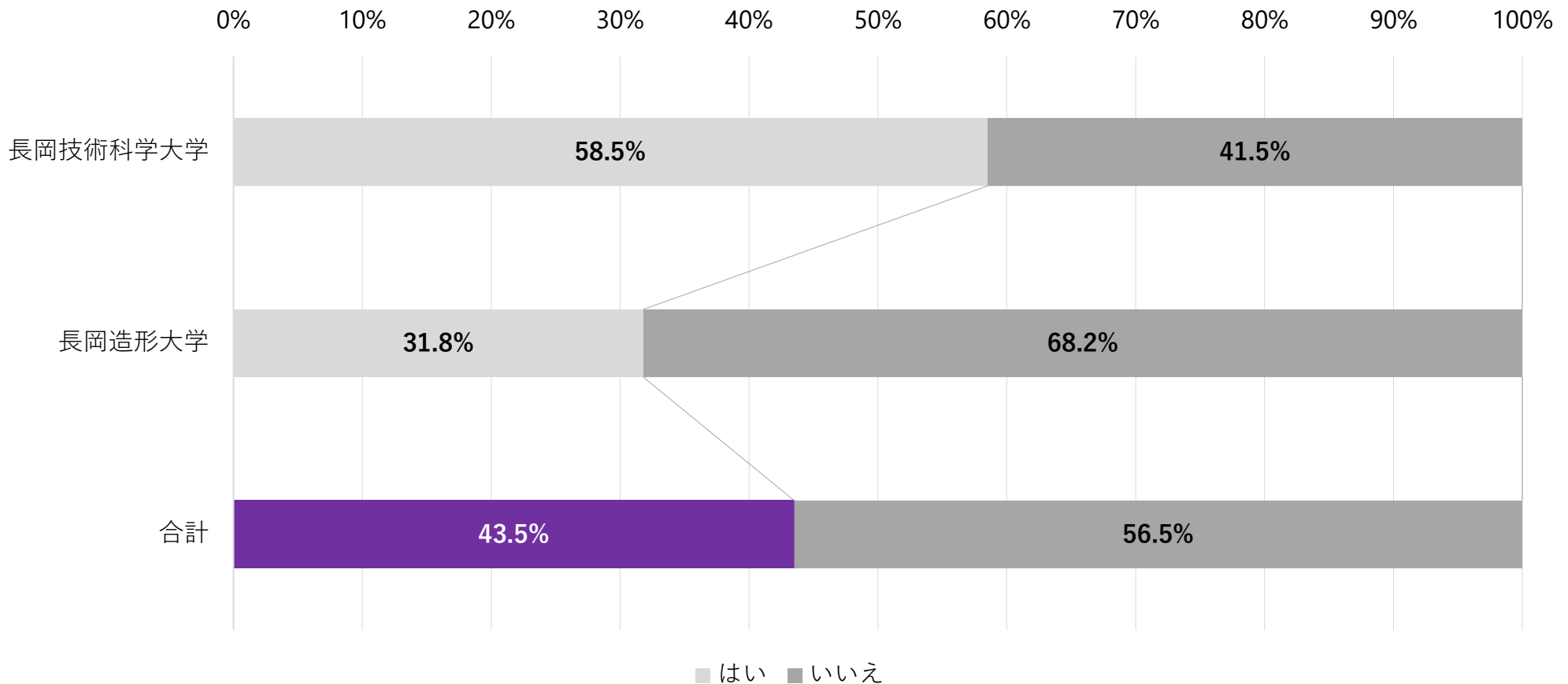
Q. 普段の生活で電車やバスを利用する機会がありますか / 普段の生活でタクシーを利用する機会がありますか



# 大学生の利用意向について (大学生アンケートから)

- ・大学生はクレジットカードの所有が進んでいない。

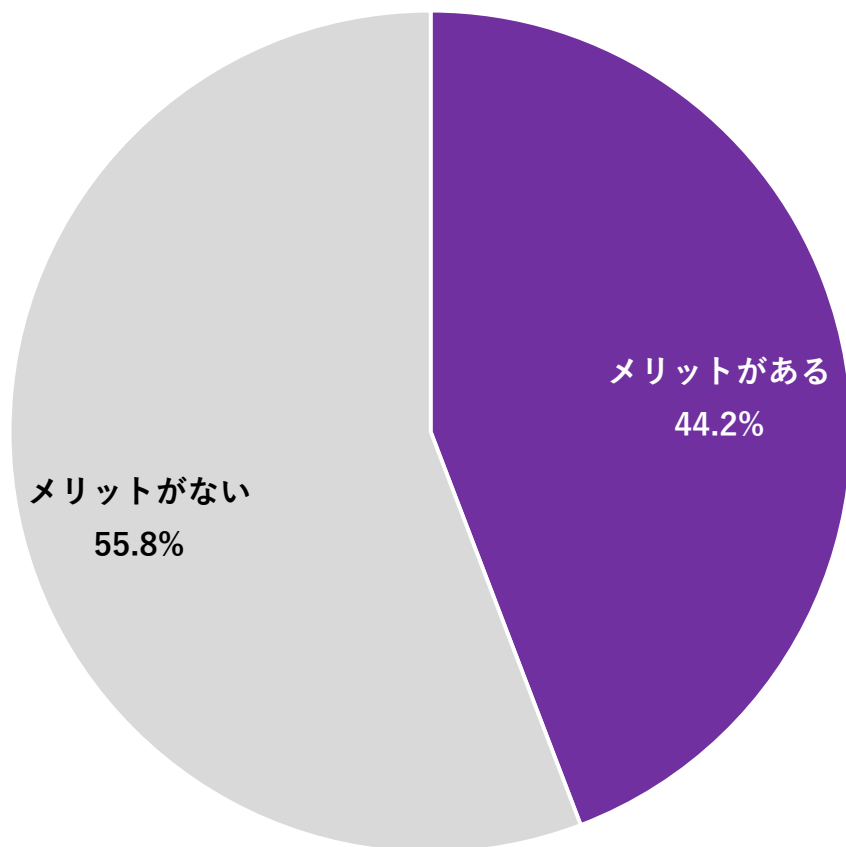
Q. クレジットカードは所有していますか



# タクシー業界の反応(ドライバーアンケートから)

- ・ 普段からタクシー利用者と接している運転手の約半数が、本サービスがタクシー利用者の利便性向上に寄与すると考えている。

Q. 「ニアミー」やマッチング技術は、お客様にとってメリットがあると思いますか。



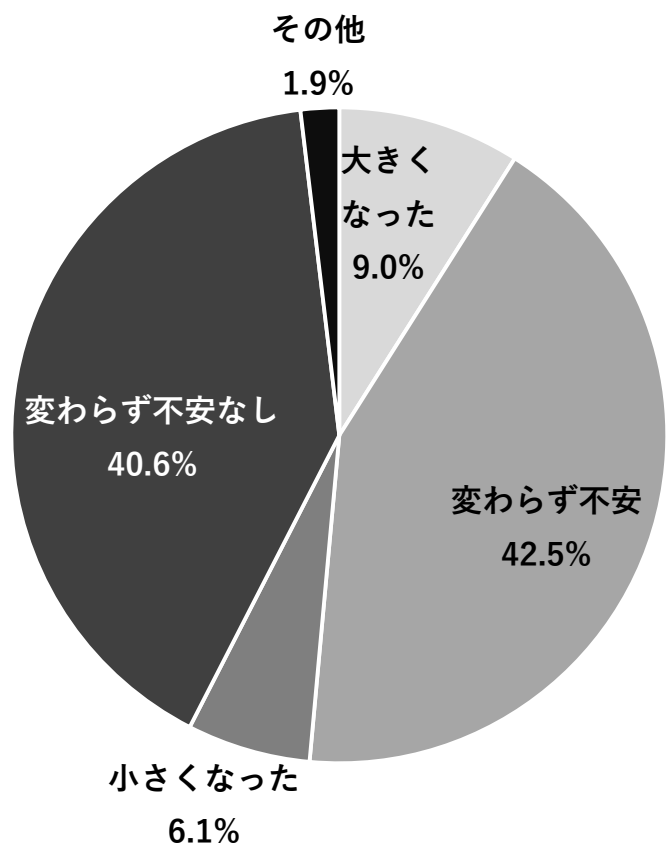
## 【主な意見（メリットがある客層・場面等）】

- ・ タクシー料金が安くなる。
- ・ 年末の繁忙期など駅前にタクシー行列があるとき、待ち時間が短くなる。
- ・ スマホをよく使う学生や若者。
- ・ 通院をしている高齢者や障害のある人。
- ・ 公共交通が不足している地域や買い物が困難な地域の輸送。
- ・ 高齢者センターや市立劇場など公共施設への相乗り。
- ・ イベントやコンサートの帰り。
- ・ 飲み会帰りや終電・終バス後。

# タクシー業界の反応(ドライバーアンケートから)

- ・タクシーの営業上、本サービスを不安に思う運転手が一定割合存在する。

Q. 前回アンケート回答時から、「ニアミー」に対する不安はどのように変わりましたか。(第5回(11月下旬)回答)



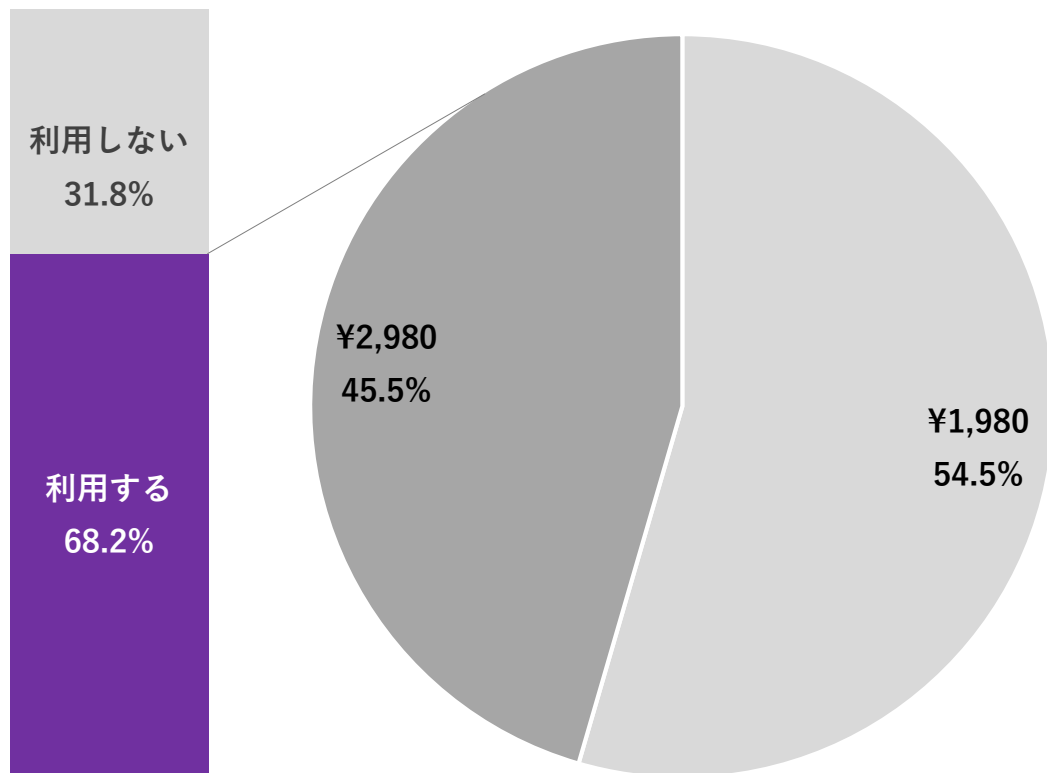
## 【主な意見 (不安なこと)】

- ・知らない人同士の同乗は不安を抱くのではないか。
- ・車内での質問や問合せがないため、反響が感じられない。
- ・アプリや仕組みの説明ができない。
- ・乗降時や乗車中に手間が生じる。
- ・アプリは年配の人たちには難しい。
- ・電話で予約できれば問題ない。

# 今後の展開に関して (ユーザーアンケートから)

- ・首都圏で展開している空港へのジャンボタクシー相乗りについて、長岡市内や新潟空港への交通手段としてのニーズも見受けられる。

Q. 自宅や勤務先など長岡市内の各所から新潟空港までの相乗りシャトル（車両はジャンボタクシー、複数のスーツケースの持ち込み可）があったら利用しますか。  
また、1人あたりの料金がいくらまでなら利用しますか。



Q. 自宅や勤務先から普段よく行く場所（店舗、病院、駅など）まで相乗りシャトルが利用できるなら、1人あたりの料金がいくらまでなら利用しますか。

